

実施計画事業名		冬季観光振興事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		建設産業部 観光交流課		課長(主幹)名	斉藤 正良		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	4	地域資源の再発見・世界への発信				
	施策	1	観光を核とした産業振興を図ります				
	関連施策						
現状と課題	本市の観光客入込数は、季節による変動が大きく、特に大きく落ち込むのは12月～3月の冬季であり、この時期にいかに関光客を増やしていくかが本市観光振興の重要な課題の一つである。						
目的	冬季観光客の振興を図り、冬の地域産業、経済に資する						
5ヶ年展開の	①東京直行便支援事業 ②海外誘客事業 ③スノーモビル事業 上記のほか、冬季ならではの新たなロングランイベントを創出していく。						
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	冬季観光客入込数(1～3月)		人	目標	51,800	52,300	53,800
説明	1～3月に本市を訪れた観光客の延べ人数			実績	53,800	50,500	
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	ふれあい公園スノーランド入場者数		人	目標	3,000	5,000	5,000
	説明	来場者の延べ人数			実績	3,414	9,841
	アザラン観察所利用者数		人	目標	9,000	9,000	9,000
	説明	アザラン観察所(抜海)を訪れた人の延べ人数			実績	9,270	9,347
				目標	-	-	-
	説明				実績		
				目標	-	-	-
説明				実績			
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	33,846	65,786	1,135		
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	0	0	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	33,846	65,786	1,135		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.90	0.93	0.93		
人件費(B)	千円	6,233	6,316	6,316			
計(A+B)	千円	40,079	72,102	7,451			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 冬季観光客は2月の稚内～東京便に欠航が無かったことで増加傾向となったが、3月中旬からは東日本大震災の影響によりツアー催行の中止等影響が見られた。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし
	<A～C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 本年度から冬季観光振興にかかる事業内容を全面的に見直し、早い段階からPRに努めた結果、「ふれあい公園スノーランド」の入場者数は前年度比倍増の成果を上げることができた。今後については、本年度の事業内容を継続した中で、関係団体と連携を図りながら、さらに質の高い事業となるよう努めていく。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--